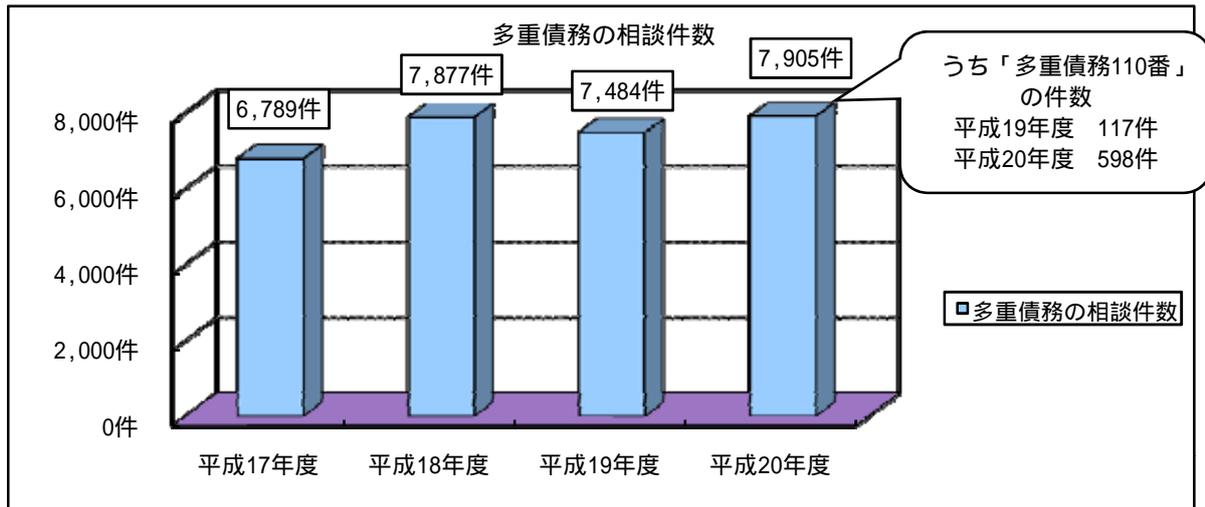


(3) 多重債務に関する相談

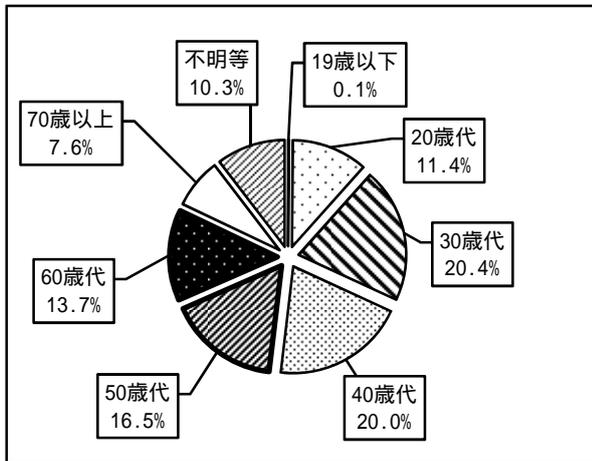
(「平成20年度消費生活相談概要」66頁)

平成20年度の多重債務に関する相談は7,905件で、前年度(7,484件)より5.6%の増加であった。契約当事者の年代別割合をみると、30～40歳代がともに2割を占めており、前年度と比較すると40歳代以上のすべての年代で、相談件数・割合ともに増加した。職業別では「給与生活者」が半数以上を占めるが、「自営・自由業」「無職」についても相談件数・割合ともに増加している。(図-9～10/表-7～9)。

【図-8】多重債務の相談件数の推移



【図-10】多重債務の相談契約当事者年代別割合(平成20年度)



【表-7】多重債務の相談借入金総額別・借入先別相談件数(単位:件)

項目	20年度	19年度	
借入金総額	100万円未満	1,311	1,267
	100～300万円未満	1,868	1,618
	300～500万円未満	1,050	926
	500～1,000万円未満	569	444
	1,000万円以上	296	195
	記入有計	5,094	4,450
平均借入金額(千円)	4,325	3,637	
借入先	フリーローン・サラ金	6,870	6,514
	住宅ローン	117	57
	他の融資サービス	62	45

【表-8】多重債務の相談契約当事者年代別件数と割合前年度比較

	平成19年度	(構成比)	平成20年度	(構成比)	対前年度比
19歳以下	14	(0.2%)	10	(0.1%)	71.4%
20歳代	1,232	(16.5%)	903	(11.4%)	73.3%
30歳代	1,658	(22.2%)	1,609	(20.4%)	97.0%
40歳代	1,297	(17.3%)	1,578	(20.0%)	121.7%
50歳代	1,102	(14.7%)	1,307	(16.5%)	118.6%
60歳代	846	(11.3%)	1,084	(13.7%)	128.1%
70歳以上	440	(5.9%)	597	(7.6%)	135.7%
不明等	895	(12.0%)	817	(10.3%)	91.3%
計	7,484	(100.0%)	7,905	(100.0%)	105.6%

【表-9】多重債務の相談契約当事者職業別件数と割合対前年度比較

	平成19年度	(構成比)	平成20年度	(構成比)	対前年度比
給与生活者	4,182	(55.9%)	4,233	(53.5%)	101.2%
自営・自由業	666	(8.9%)	844	(10.7%)	126.7%
家事従事者	480	(6.4%)	454	(5.7%)	94.6%
学生	69	(0.9%)	43	(0.5%)	62.3%
無職	1,173	(15.7%)	1,539	(19.5%)	131.2%
その他・不明	914	(12.2%)	792	(10.0%)	86.7%
計	7,484	(100.0%)	7,905	(100.0%)	105.6%